

## 高校生の語学力向上施策について

### 1 高校生英語キャンプの実施結果について

- 目 的**
- (1) 高校生の英語コミュニケーション能力の向上を図る。
  - (2) 英語による活動を通じて、高校生同士の交流を深める。
  - (3) 英語科教員の指導力の向上を目指すとともに、英語科教員間のネットワークを構築する。
- 期 日** 平成24年8月8日(水)～10日(金)(2泊3日)
- 会場・人数**
- ・福井市少年自然の家 (福井・坂井・奥越地区生徒参加)  
生徒49名 留学生13名 ALT16名参加
  - ・福井県立三方青年の家 (丹南・嶺南地区生徒参加)  
生徒42名 留学生10名 ALT12名参加
- 内 容**
- ・ウォーミングアップ活動
  - ・ALTによるワークショップ
  - ・ディスカッション  
テーマ「もしも、無人島に行って1年間生活することになったら、何を持っていくですか。3つあげて、それを選んだ理由を説明しなさい。」
  - ・スキット活動
  - ・プレゼンテーション
  - ・ディベート
  - ・留学生との文化交流 など

### 2 中国語派遣研修の実施結果について

- 目 的** 日本企業のアジア進出等に伴い中国語を使用する機会が増加していることから生徒の中国語によるコミュニケーション能力の更なる向上を図る。
- 期 日** 平成24年7月30日(月)～8月13日(月)
- 派 遣 先** 中国 浙江省 浙江工商大学  
主に大学のゲストハウスに宿泊し、2泊だけはホームステイ
- 派遣生徒数** 足羽高校生徒5名(3年生2名、2年生3名)
- 引 率** 足羽高校 中国語科主任 青山恭子教諭  
高校教育課英語教育推進室 棗貴則企画主査
- 内 容**
- ・中国語授業
  - ・中国文化授業 東アジア文化、書道、中国画、太極拳、中国茶道、中華料理、異文化理解など
  - ・郊外授業 浙江博物館、魯迅故居、王羲之遺跡蘭亭、西湖など
  - ・中国人学生との交流会(座談会)

## 生きた英語」身に付く 嶺北嶺南の2会場で高校生ら宿泊学習会

2012年8月10日 日刊県民福井

英語を使って討論の準備をする参加者たち＝福井市少年自然の家で



県内の高校生が英語だけを使って過ごす二泊三日の宿泊学習会の二日目が九日、嶺北と嶺南の二会場で行われた。生徒たちは、日常生活を通して「生きた英語」を身に付ける。

年一回開かれており、今年で三回目。嶺北会場となっている福井市脇三ヶ町の市少年自然の家では、生徒四十九人と留学生十三人、外国語指導助手(ALT)十六人が参加し、八グループに分かれて討論や日本の文化紹介などに取り組む。

この日の討論のテーマは、「無人島に持って行く三つのアイテムを選び、その理由を答える」。各グループは「万能工具」「ドラえもん」などとそれぞれのアイデアを絵に描いて表現し、全員の前で発表した。

藤島高校一年の森北有希菜さん(16)は「将来は留学したい。英語ができないと国際社会では活躍できないから、少しでも環境に触れたい」と真剣な表情を見せていた。

「オリンピックイベント」と題した時間もあり、グループごとに物語などを考え、その出来栄をALTらが審査した。(山本洋児)

# 在工商大学学汉语

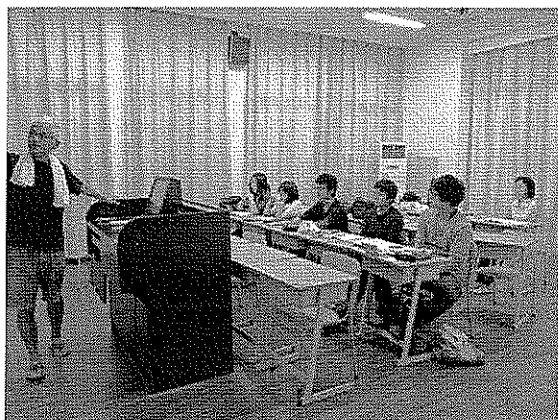
第 3 期

2012.8.1

星 期 三

## 初めての授業

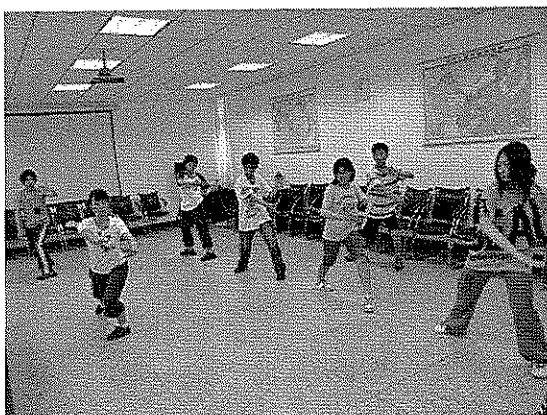
8月1日(水)、快晴。初めての授業は、日本語言文化学院副学院長の呉玲先生の授業であった。午前中の前半は教科書に基づいた簡単な自己紹介からはじまり、親族呼称の呼び方の北方と南方の違いなどを学んだ。後半は、小学1年生の教科書に出てくる文章(呉玲先生の娘さんの教科書)を聞き取り、その内容について一人ひとり質問に答えるやり方であった。この聞き取りがなかなか聞き取れず5人とも苦労していた。呉玲先生の授業はスクリーンとパソコンを用い、終始先生は生徒のほうを向き、5人の生徒を常に指名するので、生徒たちにとって緊張感がある分、大変だったようだ。しかしこの研修期間で十分語学力が身に付くのではないかと感じる。授業のやり方についても青山自身とても参考になるので、今後の授業に生かしたいと思った。



などを学んだ。

午後は札幌大学から客員教授として工商大学いらっしやった泉敬史先生の日本語による東アジア文化についての講義であった。人類の誕生から今に至る歴史観を教えて下さった。日本は多くのことを中国から学んできたが、必要なものを選択して輸入した。「科挙・宦官・纏足・宮刑」などは輸入しなかったこと。また、文化交流は結果から考えること。漢字を使う人口が多い中で日本は独自の漢字文化を作り上げてきたことな

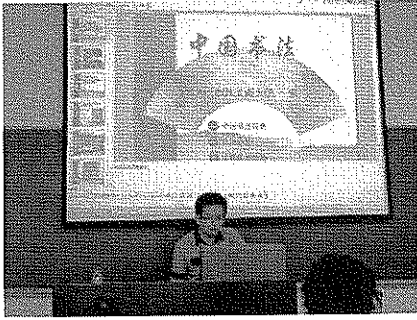
## 待ちに待った太極拳



8月2日(木)、曇り時々雨。台風が台湾に上陸。

午前中は、工商大学の体育科主任の周智军(Zhōu Zhì jūn)先生の太極拳の授業があった。基本動作の練習を行い、それから「八式太極拳」と「太極剣」を習った。みんな楽しくて、懸命に先生の指導を受けていた。積極的に先生に中国語で(日本語のできない先生なので)話しかけ教えてもらっていた。帰国後も習いたいと全員が言うので、検討してみたい。

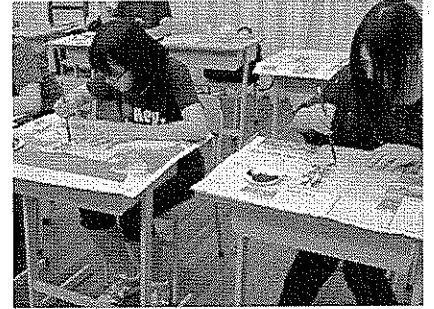
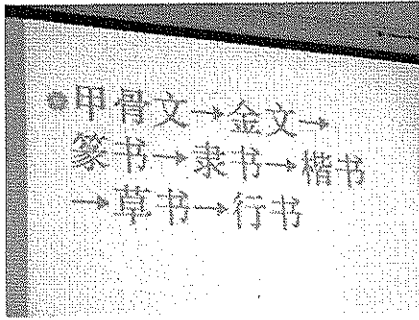
## 午前は中国語の授業・午後は書道



8月4日(土)、晴れ時々曇。午前中は、呉玲老師の授業で、中国事情として、簡単な中国の歴史と領収書のもらい方やネットショッピング事情などを習いました。リスニングの「雪だるまの話」と李白の唐詩「静夜思」を朗読した。

午後は書道の授業で、「文房四宝」の話から、字体(篆書・隸書・楷書・行書・草書)、王羲之・王献

之親子、楷書四大書家の「王欧詢・顔真卿・劉公権・趙孟俯」について作品に基づいて説明をしてくださった。その後、実践に移った。最初、「龍」の楷書・行書・草書の練習をし、「水流」を書き、最後に各自の好きな文字を書くことになった。



## 午前は中国語の授業・午後は中国画



8月5日(日)、晴れ一時雨。授業の教室まで一緒に来てくれた苏浩お兄さんとも本当にお別れである。記念写真を撮り、ハグして別れた。

午前中は、呉玲老師の授業。まず、昨日の宿題であった李白の唐詩「静夜思」の暗誦を一人一人発表した。昨晚みんなを集めて練習したので完璧だったが、朗読の宿題の確認はなかったので残念!!今日のテーマは、ホームステイ先での会話であった。家族構成や親の仕事や兄弟のこと、趣味、学校のこと、将来の夢など、中国語で

説明できるように練習した。また、中国では相手の年収を聞いたり、家の中全部(寝室を含む)を見せてもらったりすることは失礼ではないことなど、日本人と中国人の習慣や考え方の違いなどを習った。また、小さな女の子が傘を持ってバス停で待っている絵を見て作文練習をし、全員が添削してもらった。

午後は中国画の授業で、先生は有名な刘彦勇(Liú Yànyǒng)老師でした。書道と同様、道具の話、白描の作品説明、筆の運び(中锋・側鋒・逆鋒・臥鋒)などの解説を通して学び、その後、「小鳥・葡萄・キュウリ」の描き方を習った。一朝一夕に描けるものではなく、四苦八苦していたが、先生の加筆によってすばらしい作品になった。

